

バストス週報

第八四一號
昭和四十一年
六月十七日
發行

DIRETOR
KOBITI MORI

REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
MAGDALENA

C. POST. 112
EDNIE 42

BASTOS

DAU155

— 1 —

— 1 —

三

1

— 1 —

青嵐

25

佛を嘆かしむる事勿れ

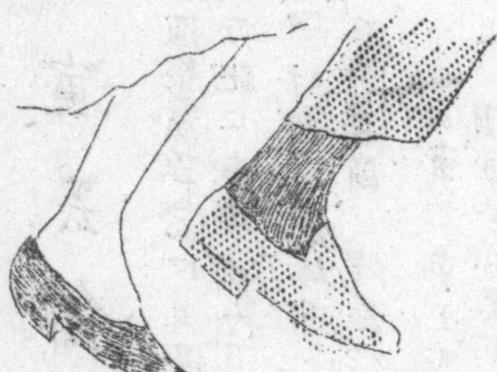
入植祭の行事にも色々あるが慰靈祭といふのは、これまでの通念では相当大切に取り扱われて来たようである。が昨年入植前に仏教徒間に寺院をめぐって対立するような空気が起り、未解決のまま入植祭を迎えたので、慰靈祭も両方で行われることになつた。何度も行われても、どこで行われても結構ではないかということも云い得るが、日伯文化協会主催の慰靈祭となると一つであつてほしいものであるからに寺院をめぐつて対立せねはならぬ空氣があつたにせよ。日伯文化協会主催とあれば、その名に於て、その行事だけは一つにまとめなければ本当ではない。昨年は感情的なものが濃厚であつたから、うまく折合いかつかなかつたかも知れないが、一年後の今年は大いに冷靜をとりもどして慰靈祭らしく人間同志の葛藤や反目を超えて奉仕してもういたいものの

文化協会は從来慰靈祭執行に際しては
協会自身が主催し僧侶を招聘して読誦を
依頼したこともあつたが、寺院が出来て
からは寺院の運営者とバストス草分会に
執行を委任して来た時代もあつた。ところ
でが寺院側と草分会主脳部とに悶着が起
り、草分会主脳部は文化協会から慰靈祭
執行に関する委嘱を受けていることを口
実に寺院側をボイコットして草分会が中
止となつて慰靈祭を主催した（昨年の例）
一寸説明がいるが、寺院の運営に異議
ある人達と草分会の主脳部が連合仏教會
を形成し宗教上の件は仏教会の名を用い
文化協会とのつながりでは草分会の名で
仕事をする仕組みのようである。以上記
したことは説明であつて、その組織を非

今年は昨年のような喧嘩腰とも見え方よ
うな態度でなく寺院側にも花をもたらせハ
ストスの慰靈祭として非のうちど二方の
ない行事として執行してもらいたいと思
うのである。

ここで文化協会の態度に触れることを
あらし願いたい。去年から本年にかけ
ての寺院関係の悶着か尾を曳いて文協主
催であるべき慰靈祭が派閥的色彩を帯び

Sapataria Bastos



靴の用は早川靴店へ

て来て居ることに、勿論気がついて居られる筈である。草分会に執行を委任したといつても永久に、その委任をつかれどものかどうか、すでにその書状を手交していふものかどうか。

これまでの慣例では、よろしくやつて下さる程度の口説的依頼である。それが金科玉條の如く、自個障害を利する底番と

東方美容化學研究所編著

木村イチロー

各薬局にあり

3656 S.P

WAKAMOTO

力

虚はいやな病

WAKAMO
二れにかかる前はガンの菌を殺
かしてしまふ力のある酵母菌をも
つ わかもと を毎日服用して下
胃腸の健康を保証しつつ ガンを
予防する偉大なる わかもと

して使用されると、そこに云いようのない誤謬を生ずるものである。既得権の乱用になりかねないであろうか。
そして両者を冷静に反省せしめる手段としては、バストスの慰靈祭行事は力トリツク式にはイグレリシヤに一任（これは古うまでしない）仏式に開しては當分、文化懇会の主催によること。
方法は天幕張りでやるより、むしろ墓地の一角で野天ミサ（法事）をやり、は度は役員中執行委員を理事代議員中よりえらび、僧侶は各派から招聘するようにするれば無縁佛もようこぶであろうし、有縁の人も墓参を兼ねて文協の厚意に感謝するのである。
寺院をめぐる葛籠は双方に主張があり第三者には俄かにその黑白を分けがたいものが、なぜか慰靈祭は、そういうものから超えて行われなければならぬことから皆すでに御承知の筈である。それ位の襟度がなくてよく、仏徒でござるの、などと恥かしげはないであろうが反日の原因その他につけては、又祈りを見て、毎日八日の説をすることもある。
が、今回はそれにふれないと、いつて双方にいふべきとするわけにいくまい。といつて寺院方は寺院で執行することを主張す葉に従う。よリ外ないであらう。いすればそれはそうなるにしても、まだ入植祭までに一ヶ月あいだがあるとどうか関係者に於てれば、お互にやうよう、煮え切らぬ態度となるより、前記通りあつて一日も早く明朗な慰靈祭が執行できよう御考慮ねがいたい
佛達を嘆かしむること勿れ。

おしらせ

本年滿七十歳になつた方をふくめ、敬
老会登場者を各組よりお知りせ下さい。

バス・トス 日伯文化協会

前老会保小產因

各組長様
(区でまとめて下さい)

演 艺 会

入植祭演芸会に出演希望者は六月一
に左記にお申込み下さい

流行新歌謡曲
日本舞踊 洋舞バー 寸劇 芝居

いつも事ですがフログラマ作成の都合上、期日をお守り下さい。当日突然

申込受付所 前山商店 阿部新蔵

立
モ
小戸田商店 ハサウエーホテル

卷之三

不一堂合會

六月作品

冬めくや品の不足の目立つ店
朝毎に掃くや狹庭の冬めくる
勝雨

堀え難きを堀えて喪服の木の葉髮

行秋や哀しきばかり火酒あはり

十年前はミスでありしよ木の

木の葉、髪夜動の灯には、艶色見せ

本筋は「衰しきばかりにしてある。衰しいのが原因で
シガの、と、うめき声である。舞者は「ニ」と

アーヴィングは見た。見ていて哀れな程火酒をあほりうけた男の様子を画いたものと解した。

か原因か知らぬが、多分私の過ぎゆく感覚にうちひかれ、心のうさを火酒に托

「さうが作者の主觀であろうが、酒でうまいに」

やはり、そういう一人の男を画いている

(節高見 ゆよせ下さい)

系
育

訪日見聞錄

悲風膚に寒(広島つぐみ)

Journal of Health Politics, Policy and Law, Vol. 35, No. 4, December 2010
DOI 10.1215/03616878-35-4 © 2010 by The University of Chicago

高い岡の中腹にあり、横も後ろも山であるが全部密柑山で今採集の真最中であつた。採集された密柑は空中ケーブルで一ヶ所に集められ選果される様になつて、御主人は採集に出でて不在であった。御令室と色々と御詰しができ、新築の座敷から眼下に瀬戸の内海を見下す

中原家を訪う

様は偉大な奇観である。水の色と山の色
とに反映して言語に尽せぬ美さに呆然と
立ちつくすこゝレはレである。たゞ口一ノ
ウエーで城山登頂の便もあるが時間の都合
で割愛した。碓井氏は今一度広島に引返
し、音頭の瀬戸に案内すると親切に云つ
て下さるが今日はどうしても下松市追行
かなくてはならず、不本意のまま袂を別
ちタクシーを拾つて山口県大島に向う。

錦川の清流をまたいで家並美しく独特的の古典的風景を現わして居る。みはるかす川向うの高い山の上、翠松の中に白糸の岩国城は得も云われぬ美観であり、その下を流れる錦川、岩国川の清流は河巾広く鵜飼いの名所であると共に天下に名高い錦帯橋が架けられて居り、そのそろばん珠のような五つの大珠が広い広い川を朱色に彩り虹のように対岸迄連なつて居る

後岩国の錦帯橋に案内された。御令室は
今日は婦人会の団体旅行で松江市に行かれ、
畠井氏一人で案内して下さった。

あり、又直至八米もある自然の花を植えた花時計、鳴蝉約欄たる現代文明の陰に此の悲惨極まるものがあろうとは、准井氏の御厚意で新興大広島市を観光

けまがつた硝子器の数々が所せましと人骨の付着した客器や瓦等、実に見るに堪えなゝむごたらしき、早々に去る。記念館の前には兒童事もない大噴水が

木屋の柱のみで其の上に長さ百五十メートル
あろうか、現代式大建築が立ち、原爆当
時の参考品が併せまき並に飾られ、或い
は人骨の付着した半分溶けた自動車に溶

ある。平和の火はコンクリートの大きな
屋根の下に焰々と燃えつづけ、世界平和
確立。此の火は消さぬと書いてある。そ
れから二百メートルも行つたところに一階は五

その塚のある所から旧練兵場であったのを今は平和公園として原爆ドーム礼拝堂・平和の火・平和記念館と五百メートル以上の所に一直線上に並んでいる。礼拝堂には「安らかに眠つて下さい。あやまちは練り返さないから」と書いて

軒居御挨拶

私儀

御地バストスに二十数年の長きに亘り
居住いたし、エスペランサ区の方々はも
とより、多くの方々に御厚交をいただき
無事今日まで済く暮すことができまし
て誠にありがとうございます。たと厚く御
礼申上げます。

今回イングランドに居ります長男
定へ転居することになりましたが、御存
知の通り、もはや老境に入りましたので
子に従い余生を暮す考えでござります
お僕にあたりましては送別会をお催し
下され、或は御餞別を賜わるなど、この上
もなく御配慮を煩わし、まことに御厚志感
謝の外ありません。

一々御挨拶にも廻りかねますので署名
失礼ではございますが紙上を以つて厚く
御礼申上げます。

皆様の御繁榮御健康を祈つて御別れ申
上ります、尚同地方御迎遊の節は何卒御
立より下さり

五月末
元正月
中島 安
家
内代

卷之五

中島安志代様
バス北海道
協会

御
利

金一〇田ニントス二六〇針也

ハトノ日

右は当会の基金にて提供御寄贈にな
るもので厚く御礼申上ります
バストス 日伯文化協会

遠く奥在する島々を眺めた時、こんな清澄な空気を呼吸し、こんな美しい風光を眺めて日夜を過ごす中原家の人々の幸福はうらやましい限りだと思つた。丁重なおもてなしを受け要請を終つて待たせてあつた車にのる。今日中に下松市に着かなくてはならないので汽車電車に乗り替える時間もないのに下松市まで車を走らせることにした。

バス・トス柔道祝勝会

大倉重一 倉本よしこの実家訪問

をするために只、山口縣笠戸島とのみ聞いて居たが誰にきはば笠戸島も相当大きくて何浦で下船すべきかも知らぬまま下松市に着いて行先を調べなくてはならぬからだ。海岸のアスファルト道路を直進する運転手は親切な宿を考えているらしい。訪日以来自分達の乗った何十台かのタクシーの運転手は皆一様に極めて親切な人はかりであつた。が此の人もその一人で中原家からの帰途時間の待ち價は、うぬといふ。今又これから先きは余り價金が高くなるからとてメーダーを止めたりして実によく前途のこととも心配してくれたのは道不案内の旅人として何とも云えぬようこびであつた。

下松市は小さな町故宿屋も昔ながらの旅館であつた。この宿でも親切にしてくれ明日行く笠戸島の岩本なつ子様の居前についても所々方々へ電話してくれ、江の浦という港で下船するよう調べてくれたのは実にありがたい極みであつた。

笠戸島江の浦の小桟橋に下りて驚いたのは二人在所に大きな造船所があつたのかと云うことであつた。今一方頃縦の船が三隻造船中なんだから、瀬戸内海の一小島と虽へども大したものである。

岩本夏野さんは平紙で今日訪問のことを通知してあつたから、今朝から何度も桟橋へ行つたとの事であり、姉さんの岩本夏野さんは平紙で今日訪問のことを通知してあつたから、今朝から何度も桟橋へ行つたとの事であり、姉さんの

非常に都合にあずかつた。
大倉氏も組合事務多忙のため共に訪日できなかつた事等、或はききつ、或は語りつ所の過ぐるのも知らなかつた。今日はどうして山口市並行かなくてはならぬからと午後二時過ぎ挨拶で別れを惜しみ徳山市に出た。

山口県といふより長州といつた方が実感の出る明治建国の志士の國山口県、明治以後の日本政治のバックボン的人物の輩出した山口県、その山口県の訪問は長い間の願望であつて時間の都合で一小部分の観光に止まつた事は残念であつた。近時新聞や雑誌に明治百年といふ言葉を散見し、来年は明治百年であるとの事である。かその明治百年の日本の総理大臣の中では長州出身者が七人、伊藤博文

去る五月四日土曜日夜十時頃夜陰をつ
んざき花火がパンパンと上り、時なうぬ
歓声が上かるので何事なうんと覗いてみ
るくバストス柔道場へ(カバナ跡)で馬
久場父子、西見父子が柔道部員にとつ
かまつて胴上少されていろところだつた。
過日沢ハウリス^シで三連勝個人優勝を
とげ左馬欠場卯一郎君と優勝は逸したが
二位を得た西見君が、二人とは五月廿八日
両日サンハウロ市パカラエ^シブ体育館で行わ
れた州選手权大会に出場し、馬欠場君は
や一回不戦勝、第二、第三と勝ち進み四回
目はアハレ^ル、猛者杉崎ニ段大外刈で降り
最後の勝戦で聖市代表の倉地三段と激戦
の結果判定勝ちにて聖州整量級で第一位
となつた。西見整量君はクジ運悪く不
運優勝を逃したが共に来る六月十七日よ
り十九日迄ミナス州ヘロオリソシテで行
われる全伯柔道選手权大会に出場の栄を
兎ち得たのである。馬欠場、西見兩家はじ
つとして居られ本遠征の門出を祝うとい
い、柔道関係者之に同調して祝勝の小宴
どなつたものである。

当夜は、八時半より少年選手の紅白試合
を行ひ、終つて末賓の祝辞あり、胴上^ゲ
の後トリとホルコのシラスコに舌鼓を打
つた。来賓には京野州議、元レガード、デ
イショ議長、エロイ先生、署のカーボ前
山文協柔剣道会長、橋本中央区長、西前
市長、崎田、山中、信太市会議員、石橋、小沢、奥
田、船辺、京野万、及リ、ホリス、渡江、北川、砂
原氏達も馳参じ、多数伯人も打ちまいつて
柔道礼賛歓談に花が咲いた。

豆足手たち正しき技を学んで将来馬
久場君、西見君をしのぐ大選手たらんこと
を夢みていくことだらう。

(園に京野州議はマリマ署屋展と五日の沢ハ陸上に
出席つたが未確これたものである)

茶人選話
南宗寺カ春雨 宮 武 勝 南
銀次郎翁はさらに言葉を続けた「當時釜
田社長は常に茶湯は常識なり」と、上く
言われましたか、私は今でも名言だと思
っています。
本当の茶は無駄をばぶいて物を生かす
ことであつて、大茶人は物を生かす名人
だと思ひますよ。生活の中重心が定まつて
無駄がなければ、自然にお金でも道具で
も、知識でも経験でも、人生が知らず知
らず充実して来るといふい視野に立つて
新し
い知識を吸收もどんどん出来う筈で
すよ。私は廢茶を宣言したと申しましても茶
力精神を捨て去りであります。
畠山一清氏も(大茶人畠山氏は即翁と号
し、荏原製作所の社長)茶の本質とは何か
と訊かれたう氏は、「何も別にむづかしい
もつかあるわけではないよ、いわゆる茶
常識じや、茶は子供の時分からしつけられ
てきて、小学校の課程にも入れて教えろ
べきであろう。茶湯は主客対応の中に、お互
いの心入るものがすと敬愛する気持ちが湧いて出
来るものじや、相手に対する思いやりや

染法衣の住職が薬石伝いに近づいて来る
翁が片手で開いた竹達子の窓から、柿
色ズボンの裳を濡らした寺男の後から墨
ベスで、茶湯は主客対応の中に、お互
いの心入るものがすと敬愛する気持ちが湧いて出
来るものじや、相手に対する思いやりや

茶道はまだ數百年にわたる総合芸術と
しての粹を、日本文化の代表としている
にまで及び、物を大せつにしその物を生
かすという、東洋的世界觀にも通してください
ると思う。

茶道はまだ數百年にわたる総合芸術と
しての粹を、日本文化の代表としている
にまで及び、物を大せつにしその物を生
かすという、東洋的世界觀にも通してください
ると思う。

茶道はまだ數百年にわたる総合芸術と
しての粹を、日本文化の代表としている
にまで及び、物を大せつにしその物を生
かすという、東洋的世界觀にも通してください
ると思う。



露地に、いつか間にやう雨が止み、雲間
を浅れた薄陽が、つくばいに茂つた羊齒
の葉に真珠のよな露がかげやき、老鳩
の澄みとおつた声がどこからか聞こえて
来た。

白山郷の茶室は、高松の宮様より、沼草庵と名命されてもあつてある。また藤原銀次郎翁及白山一清翁が作つた竹茶杓は、僅か耳擡を少し大きくしたくわい竹されにすぎないが、現在では數十万円でも入手はむづかしいとの事である。この文は筆者り旧友故・神内仙雷氏より昭和三十五年に貰つた手紙を元にした。

2
西山
田
石
兒
材
弟
工
場

親切なブラジル人

仲島正男

營業種目
石材仕事一切
墓碑記念碑
石燈籠
井戸用石村一式
既成墓石修理
場所
日 池田ホテル向

んむし暑い日が出来ごとである
リノボリスを午前八時四十分にツパン向けて
出るオニブスは、すでに車体もハキ切れんば
かりの東京を載せてポントへはいつてき
た。余談にわざるがリノボリスからツパンへ
行くのに朝二便のオニブスがある。
一便はアスフルトを通つてバラブアンに出て
イヤクリー、ウニベルソ、と、ズフとアスフルト
を通つて行く便で、今一便はエストレマドーラ
ジユレマ、ドンキショテなど村を通る土の道

午前八時四十分のパラブアン経由のオニグス
ヒト、九時二十六分ヒパラバンを登フ。
ハウリスタ鉄道に棄てために行く乗客も
ナリ、自然田舎町には稀な人混みが現出

その日私は、鎧骨を折った幼い二女を
見て、その人混々中にあじてツバシへ

御宗内
入植祭の初日
(七月十六日)
午前九時ヨリ
バストス墓地前
お地蔵さんのお祀りを
いたします

也成事了

皆様お誂い合せ 御參詣

主僕
大師講
外一同

卷之三

甘茶接待

行くところかい？」
「うん、そうだよだ」
名も知らぬただ行きずりの一伯人け年
の頃四十ぐらい。ヒゲも少しのびるままで白い袋を肩にして、ちよつとした他所
に行きの服装はその辺までちよつと用足しにとへうかこうだつた。
首から下げた右腕に繻帯をまいた二女
の姿を見て、いかにも痛々しそうに私に
それだけ見てくれる。この人混みでツバシ行きに乗
つて坐れど君、この人混みでツバシ行きに乗
る見込みかい？」さあ、それは
ナ私と云ふと、も言えないと云ふ
ンと云ふと、それにはどうとも言えないと云ふ
と云ふと、それにはどうとも言えないと云ふ
かなるでしょ

こんなおいしいものは外にありません

ハカルテル

鵝肉上野菜の
煮込子糸

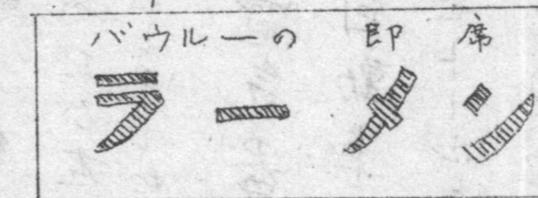
卷之六

コップ二杯の水を鍋で煮沸し、袋のラーメンを入れ、手早くかきまわし、二分間で出来上り、汁ごとお上り下さい。日本式にカマボコなど入れは尚よろしい。

Massa de Sêmola
condimentada • PASTAICCI

LAMENT

Participio Bauri



一〇

本場の味
水を沸し ラーメンを入れて 汁のなくなりまでいため
味がつくまでいため コップ三分の一～二杯ではな
御注意 热湯をかけただけではいけません 充分に味を出
すには前述のようだ 一丸煮沸して下さい

バウルー市 ジュルソン フランカ 街

代袁長訣信二

長
訛
信
二

席は取れませんよ。ヨシ、よろしい、委
しておいてくれ、俺が一歩、君のため
に席をなんとかして上げるからな
やかで、オニデスがボントへとまると、
彼氏は人垣を押しのけて第一番にオニデス
の中へ飛び込んでいった。
私の姿を見るに彼はいかにも残念そう
に「ああ、だめだよ、ジャボネス。一つも
なにんだもん」と言つたが、それでも彼は
頼んでくれるのである。
ねえ、君、もののは相談だがねえ、あカ
ジヤ、ボネスがねえ、病人の手を抱えてツ
パンへ行くんだが、もし出来たら一つ君の
席をゆくてやつて下さらんだろうか?」
屈強な男の人者が坐つていろくへこう言
ふ。人もあれば、私がゆづろが、誰一人として、上と言
ふ。ひだよ。といわぬばかりの断りようをす
る人もある。
彼はそれでまだおさうめないで満員
のオニデスのうす暗い通路に突立つて、あ
あ、俺がこれだけ頼んでもこのオニデスの
中には骨が折れに子を抱いて行く日本人
たちに席をゆくてくれる親切な者は

上と、あたりへ備こえよがしにぼやいていろ。
その時である。一番後の席の空いところ
所へとは言つても横にいる人がちゃんと席を、
取つておいてあつたもがだがへせかせかと棄り
込んで来て中年ク男があつた。彼がこの中年
男を見逃す筈は無い。早速例の調子で話
かけろと、忽ちこの中年男は、そばに応じた。
「お、いつも、いつも、お安いご用だ。さあく
アレ、ナンダ、オツセ、ナカシマヒヤないか、一体どう
したんだ」「いや実はこうして次だ」
「それほく大変だな、どうぞ、まあ、そま
つた席と言つたやあオニバス会社の奴は恐るだ
ろうが、坐つてくれよ」彼は、私ともよく識つ
ていろ仲である

こうして、私は幼女を抱へ立つことなく、その
席に坐つて無事にツバシに着いたのである。
彼の親切な男はパラブアンで下車して、お
つ、ジボネス、お嬢ちゃんをお大事に

とへ言残してカミでゼクルと歩み去つた。
ほんとうに文字通り往々よりの男である
に過ぎない私と、あれだけ心をくだいて
席を探してくれり、あれこそ本当の親切と
いうものがであろう。

私は今ま二ヶ稿を書き乍ら、あか一伯人の
姿が眼前と浮んで来る。名も告げずに去つた
彼に私は心の中でくり返すのである。あなたの親
切には到底及ばぬでしよう、うう、私も出来ただけあ
なたの行為に喜んで少しでもあなたが心に近づくよう努
めます

お知らせ

磯谷 鍼灸本院
お知らせ

青年 来る六月十八日夜七時
婦人たちへお話
六月十八日午后二時

土曜日

いそたにり申うめい

加藤千永子先生 講演会

(サンパウロ 日語普及会講師)
日本語書道草道

場所 後援 バスストス 南米本願寺

バスストス 連合青年団
バスストス 日伯文化協会

一般の方々も御出下さい

青年への話 婦人への話が主題で
すから大変有益な講演です

特別出張治療

○期日 六月二十日より廿六日迄

一週間

場所

木テル ロードビアリオデバスストス前

金二十コントス也

佛前結婚記念として御寄附下さい
ました 御礼申上ます

小林 正名様
バスストス 南米本願寺

金一封 御礼

右は御結婚記念として御寄下
さいました 御礼申上ます

バスストス 仏教婦人会

小林 正名様

金一封 御礼

御子息、息女様たち三人の三年忌供養のため
御寄贈下さいました。御芳志ありがとうございます
申上ります

バスストス 仏教婦人会

電話番号

郵便

小山田 実

二三九三
五五八

ツパン市
ルアカリージョ 四七一

Auto-peça Eletronico
de M. oyamada
電気器具材料
自動車新モトル
モトルカ 巻替
その他 エンセント
迅速下寧に
いたします

FONE 2393.TUPA
C. POSTAL 558

Auto-peça Eletronico

M. oyamada

電気器具材料
自動車新モトル
モトルカ 巻替
その他 エンセント
迅速下寧に
いたします

FONE 2393.TUPA
C. POSTAL 558

四頁より、ここへつづく
山県有朋、桂太郎、寺岡正毅、田中義一
岸信外、佐藤栄作、其の總理大臣として
の年数合計二十七年で、現首相佐藤栄作
氏が今一年首相の席に居れば二十八年と
なる。明治百年的間に二十八年は長州出
身者が占めている。薩州と共に維新の大
業を成しとげ一小帝国日本をして、一時た
りとも世界の三大強国たらしめた大政治
家は百年間に二十八年長州人か占めた
事実は何を物語るものであるか。

説をなすものによれば彼の中国の雄藩
毛利家は徳川治世となると共に山口市を
追われ、萩の一角に三十六万石の小藩と
して僅かに家名を残すのみとなり、主従
の徳川に対する恨みは骨髓に徹し、家来
は主君に対して「徳川討つべし」と進言し
君主は「時期尚早」制しつつ徳川討伐の
事のみ念じていたが愈々時を得て明治維
新の大業を成就したんだから人材の多い
のは当然である。これはほんの一説だ
過ぎぬまでも此の長州から大政治家出現
の多いのは實に不思議という可き事実で
ある。

これからその風物に接する歎びは又大
なるものがある。それはさておき自分達
は山口市に米川悦生君の生家を訪ねた。
店は菓子やパンの材料の問屋で力ミニ
オネットやトモ一べで配達をして居る。
丁度に奥の間に通され、悦生君の弟妹四
人、御両親と炬燵の上の食膳で御馳走に
なり、種々の質問に答え又語り、時のた
つのを知らず、氣のついた時は夜の十二
時であつた。中でも母上は特に悦生君の
ことを心配せられ、微細のことまで庾問
せられ、あの子が一人前にやつていてく
れることは私の一番の安心ですと非常に
喜んで居られた。
(つづく)

和解できるか?

本号の第一頁に「佛たちを嘆かしむる
事勿れ」と題し本年の入植祭に行われる
慰靈祭を別々にしないで、一つにしてや
つてもらいたいと提案したが、さくとこ
ろによると、そういふ運動が、すでに起
つていいるそ�である。寺院側の代表者と
連合教会側代表者各三名が接衝して、
よほどの線までこぎつけているとの報を
きて大いに安堵をした、
この稿を〆切るまでにはその結果は不
明であるが、ここまで運人大以上双方
と二どん迫り、我を張ることなく、あくまで
六人が調停最高委員として急かすあわて
す最善の労をくられんことを切望する。

寄稿文章などで、紙面の都合でまた
掲載しないで居るもののが四五通あり
ます。追々出しますかうあしかうす
ません。あしかうす。

長い歌(唄)ようのものは大体いただ
きません。あしかうす。

編集部

追加訂正

回教社

前号(八四。号) 塩館保氏依頼の死と左
告の遺族中カンヒーナス在住妹氏の名
が落ちていましたので追加訂正いたし
ます。

三女 古賀澄子

御礼

金十コントス也
会館使用料の意味で御寄付下さいま
す。深謝いたします

宇佐美徳子様

場所 ルアバタンボ クワルテロン
一〇三ロットG

製糸公社から約三百米ウニオニの方へ
板家ノ一ボ 6M×8M 四室、サウ一
台所一

価格 支払方法 御面談

右の家へ 御たずね下さい

フランシスコ 清水

日本式 フラジル式

墓碑
胸像
石白

既成墓碑の修理
アダマンチナ市 A.V.リオフランコ

大一

Fabrica de Granito

CASAS PERNAMBUCANAS



安^ス

全^ス
安^ス

よりどり、みどり
店内一はい

その他、冬物、たんもの

店舗・冬の青春シリーズ

コベルトール フラネーラ ラン
テルガール コルシャン シティレ
カバサス ベルナンジ カナヌ
バストス 支店

もうすぐ入植祭 七月十六日、十七日です
入植祭の御用意に

ガジニーラ

Aviso de Cine-Bastos

六月十七日(金) 八時 十八日(土) 九時半
松竹コロリード ローマに咲いた恋

六月十九日(日) 九時半 二十日(月) 八時
松竹コロリード 歌くらべ満月城

六月廿一日(火) 廿二日(水)
日活コロナード 関東無宿

六月二十四日(金) 八時二十五日(土) 九時
松竹忍法破り 忍殺

小林旭 長門勇
松原恵子 丹波哲

路加奈子 竹脇藍我

影斬り闇をつく
忍者に挑む必殺の剣

長門、丹波の豪快時代劇

六月二十六日(日) 二十七日(月)
大原麗子 中西杏子 春川ますみ

木村俊惠 金子信雄
スコープ いろ 梅宮辰夫

可愛い男のためなうは女はいつも春を売る
桜宮・春の夜の青春シリーズ

大原麗子 中西杏子 春川ますみ
木村俊惠 金子信雄
十八才以上

マチレスセダリーダス

六月二十六日(日) 二十七日(月)
大原麗子 中西杏子 春川ますみ

木村俊惠 金子信雄
十八才以上

マチレスセダリーダス

六月二十六日(日) 二十七日(月)
大原麗子 中西杏子 春川ますみ

木村俊惠 金子信雄
十八才以上

マチレスセダリーダス

六月十四日(火) 十五日(水) 夜とも八時
東宝久木立コロリード 忘却の花びら

サザエさんとエフロンドおばさん
忘却の花びら

江利・小泉、白川、
三益、清川、古川

葵京子、加藤嘉

早川保、滝沢修、
白木みのる

南春介、青木光一
芦屋雁之助、島倉千代子

白木みのる、北重二
堺雅二、畠山みどり

高島浪丸、神戸一郎
藤原千代子、島倉千代子

高島浪丸、畠山みどり
藤原千代子、島倉千代子